

令和4年度総合型選抜 環境・社会理工学院 B 出題の意図

問題 1

新型コロナウイルスの感染拡大により、外出の自粛や休校・休業などを余儀なくされ、日常生活に大きな影響をもたらしています。そして、その影響は、人流・物流の変化、ライフスタイル（暮らしや仕事の仕方）の変化などにも及んでいます。一方で、新しい技術（ICT技術など）によっても私たちの暮らし方も大きく変化しました。そのため、今後の国土のあり方、都市のあり方、社会資本整備のあり方については、ポストパンデミックでの社会状況を踏まえて考えることが重要になってきています。

本問題では、ポストパンデミックでの社会状況を広い視野から捉え、今後の社会資本整備のあり方・進め方について自分の見解をわかりやすく説明できる表現力と文章力を問うことを意図している。

問題 2

土木・環境工学系を志す人には、課題解決のため、広く多面的に物事を捉え、創造性豊かに議論を展開できることが期待されています。ディベートは、あるテーマについて異なる立場から議論し、それぞれの主張の説得力などを競うもので、論理的な思考能力と表現力が必要とされます。通常、ディベートでは、個人の主張や思いと関係なくランダムにチーム分けされて行いますが、本問題では、受験生自身の個人的な主張と、その逆の立場からの主張を自身で考え、ディベートを自分ひとりでシミュレーションします。身近なテーマについて、ディベート形式で議論を行うことで、自分の主張や見解を論理的でわかりやすく説明できる表現力と文章力を問うとともに、多面的に物事を捉える力を問うことを意図している。

問題 3

クルマの lock-in 現象に関する英文を読解した上で、土木・環境工学が主に対象とするインフラストラクチャーについて lock-in の例を示すこと、および lock-in を引き起こす理由を英文で解答することにより、lock-in 現象に関する理解と英語能力を問うことを意図している。